

【１】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額：５９，０３６，８２９円
(事業収入：１７，１７１，０００円、市負担金収入：４１，８６５，８２９円)
- 支出決算額：５８，３１０，８２９円

2 事業の成果

- ◆ **受注促進・販路開拓支援事業**：県外企業訪問や技術系・専門分野展示会への共同出展、バーチャル技術展の開催など、様々な事業を展開して受注促進を図った。引合分野はコロナ禍に増加した生活関連商品に替わって表面処理や機械加工、板金加工といった部品加工が照会件数、成約件数ともに増加した。共同出展の成果は感染症流行前の状況にまで回復しつつあり、特に関西圏の展示会では成約率が６割を超え、その内の約半数が継続取引であった。
- ◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業**：燕三条ものづくりメッセは、成約件数が前年より半減したものの引合・見積依頼件数が約１．６倍に増加し、出展社アンケートでは９割近くが出展目的を達成と回答。また、来場者数は目標数に達しなかったが８割以上が「期待より多かった」、「期待どおり」の回答結果であった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業(担当：企業支援課)

(収入決算額：２１，５９２，０８１円、支出決算額：２０，９１０，０８１円)

① 地域外企業訪問による受注促進

関東・関西圏の企業を訪問して燕三条地域のものづくり技術力のＰＲを行った。訪問先からの引合案件に最適な地域企業の紹介や技術提案、紹介後のフォローアップを行うなどして受注促進を図った。

年度	受 注 幹 旋(件)				引 合 件 数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 検 討 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
R 5	41	73	410	11	535	62
R 4	53	25	426	13	517	75
R 3	64	37	403	12	516	81
R 2	50	49	353	14	466	51
R 元	55	59	388	27	529	93

・ 引き合いの主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	表面処理	80 件	14.9%
2	機械加工	75 件	14.0%
3	板金加工	59 件	11.0%

・ 成約の主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	機械加工	9 件	21.9%
2	表面処理	6 件	14.6%
	板金加工	6 件	14.6%

- ・ W e b 受発注システムへの企業照会

年度	部品加工分野	民生品分野
R 5	41 件	22 件
R 4	32 件	18 件

- ・ 受発注打合せ件数 (単位：件)

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
R 5	61	5	39	32	36
R 4	69	14	63	8	29
R 3	63	2	0	20	23
R 2	40	4	0	17	23
R 元	550	102	121	96	109

② 燕三条地域企業との技術系・専門分野展示会への共同出展等による受注促進

東京展は機械加工部品の成約が大半を占め感染症流行前の状況に戻りつつある。
また、関西展の成約はプレス加工や板金加工が中心で、成約は前年度を上回った。

展示会名称(会場)	年 度	来場者数	共同出展 企業数	引合 件数	成約 件数
機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	R 5 (6/21～23)	66,895 人	22 社	171 件	20 件
	R 4	49,262 人	18 社	148 件	7 件
	R 3	19,875 人	6 社	12 件	0 件
	R 元	10,664 人	19 社 (うちアテンド 5 社)	19 件	0 件
関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	R 5 (10/4～6)	31,627 人	8 社	15 件	9 件
	R 4	27,162 人	6 社	31 件	14 件
	R 3	16,906 人	5 社	29 件	1 件
	R 元	40,071 人	5 社	53 件	5 件
高精度・難加工技術展 (東京ビッグサイト) ※R 元：パシフィコ横浜	R 5 (11/29～12/1)	48,836 人	4 社	12 件	3 件
	R 3	21,796 人	4 社	14 件	1 件
	R 元	56,185 人	8 社	134 件	18 件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

※R 元は東京オリンピックのため会期が 2/26-28、会場は幕張メッセに変更

※R 2 年度は東京、関西ともに出展を見送り。

- ・ M O B I O 企画展(ものづくりビジネスセンター大阪)

会期：9/4～10/3、来場者数：1,909 人

③ 燕三条バーチャル技術展開設による受注促進【新規】

燕三条の特徴的な加工技術分野のサンプルを高性能3Dカメラで360度撮影し、Web上で展示品をいつでもどこからでも見ることができる「燕三条ものづくりVR展示館」を開設して技術PR及び受注促進を図った。

加工分野	開設期間	出 展 企業数	総アクセス数	月平均	成約
表面処理	8/25～2/25	12社	1,583回	132回	1件
絞り・プレス・板金	1/31～(6ヶ月)	11社	228回	114回	0件

④ ものづくり産地との交流連携促進

オンライン会議アプリを用いて各参加企業が得意技術などの紹介や地域間連携などをテーマに意見交換を実施した。

相 手 先	開催日	参 加 企 業 数
川崎北工業会(神奈川県川崎市)	6/8	相手先4社、燕三条4社
ものづくりビジネスセンター大阪(大阪府)	9/25	相手先3社、燕三条4社

⑤ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約650社を対象として、技術系展示会の出展募集や商談会参加募集などをFAXとメールで配信した。(リサーチコア通信：3回)
- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等約1,600人へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。(新潟発！燕三条ものづくり情報：6回)
- 3) 地域の特徴的な加工技術紹介の記事をビジネスマッチングWEBサイトに掲載した。(9回)

(2) 燕三条ものづくりメッセ開催事業(担当：企業支援課)

(収入決算額：37,444,748円、支出決算額：37,400,748円)

既存施設をフル活用して対面型商談を主体として開催した。来場者数は目標数には届かなかったものの会場内は多くの来場者で賑わい各出展社ブースでは商談や情報交換などが活発に行われた。

- ① 名 称：燕三条ものづくりメッセ2023
- ② 会 期：令和5年10月26日(木)～27日(金)
- ③ 会 場：燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール他
- ④ 出展規模

・ 地域別

(単位：社・団体)

	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
燕三条地域	103	92	77	104	120
その他地域	73	88	38	68	142
合 計	176	180	115	172	262

・ 分野別

(単位：社・団体)

	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
加工技術	97	93	60	103	125
機械装置	24	29	10	21	54
民生品	14	13	16	21	35
ソリューション	25	33	16	22	30
教育・研究機関	8	8	6	2	11
産業支援機関	8	4	7	3	7

⑤ 来場者数

(単位：人)

R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
4,356	3,831	2,753	1,763	12,148

⑥ 展示会概要

・ 展示会での商談、ビジネスマッチング

(単位：件)

	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
商談件数	1,443	1,796	979	456	2,951
成約件数	18	31	17	11	68

・ オンライン商談サービス

オンラインミーティングツールを用いて会場に来場せずとも出展社との商談を可能とした。利用件数：1件(事前予約1件)

・ 出展社インタビュー配信

スタッフが会期前日に会場を巡回し、出展社(27社)へのインタビューを含め会場内の様子を撮影し、会期初日からアーカイブ配信を行った。

・ 発注案件保有企業招聘商談会【新規】

県外発注企業と出展社及び燕三条地域企業との事前マッチング方式の商談会を実施。地方開催のメリットである生産現場に近いことを活かして工場見学も加えて実施した。

日 時：令和5年10月26日(木) 13:30～15:00

参加企業：発注側企業 18社、受注側企業 30社

商談件数：延べ44件

工場見学：7件

・ 特別講演会

テーマ：モノづくり産業に100年に一度のチャンス到来！

～燕三条はモノづくりの牽引役に～

講師：横田 悦二郎 氏

日本工業大学 客員教授

(一社)日本金型工業会 学術顧問兼金型学校長

日 時：令和5年10月26日(木) 14:00～15:30

聴講者：44人

- ・ 溶接・材料技術講演会

産学連携共同研究開発事業「第1回 ものづくりフォーラム」として実施。

テーマ：材料と加工技術による製品の高付加価値化～材料から仕上げまで～

日 時：令和5年10月27日(金) 13:00～16:00

演 題：くらしを快適にする鋼板

日本製鉄(株) 植田 浩平 氏

電解研磨と溶接ロボットのノズル用スパッタ付着防止剤について

(株)タセト 山村 亮平 氏

ロボット研磨の落とし穴 - 適切な研磨材選定の重要性

スリーエム ジャパン イノベーション(株) 佐藤 津紀夫 氏

聴講者：65人

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：6,358,374円

(事業収入：2,659,958円、市負担金収入：3,098,416円、助成金収入：600,000円)

○ 支出決算額：6,358,374円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**：生産工程の効率化や生産性向上を目標としてものづくりフォーラムと4つの専門研究会を開催した。各研究会ではトピックをご紹介するとともに参加企業とテーマに応じた実験を行い得られた知見を共有した。
- ◆ **技術開発総合支援事業**：地域企業から寄せられた素材表面の不具合に関する相談、熱処理方法、DX推進、材料物性などの相談に対して技術情報の提供や当センター機械設備を活用することによって課題解決に繋がった。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業（担当：技術開発課）

(収入決算額：3,491,654円、支出決算額：3,491,654円)

① ものづくりフォーラム

地域企業の技術力向上に寄与するため、生産工程の自動化、デジタル化、最近の加工技術に関するセミナー開催した。

- ・ 期間(回数)：令和5年6月～令和6年3月(4回実施)
- ・ 参加者：延べ240人

	日時	テーマ	講師	人数
1	6/2	バリ取りと自動化のポイント		65人
		「どうするバリ取り!？」 ロボットによるバリ取り自動化の方法と事例紹介	藤本工業(株) ロボット技術事業部 松井 敦仁 氏	
		工程自動化における研磨材の重要性について	スリーエムジャパン(株) 研磨材製品技術部 佐藤 津紀夫 氏	
		ロボット用バリ取り工具および周辺機器のご紹介	日東工器(株) 技術企画部 白銀 孝匡 氏	
		実機デモンストレーション		
2	9/28	超入門! 3DCADセミナー	オートデスク(株) 内藤 高人 氏	67人

3	10/27	材料と加工技術による製品の高付加価値化		78 人
		くらしを快適にする鋼板	日本製鉄(株) 技術開発本部 鉄鋼研究所 表面処理研究部 部長 植田 浩平 氏	
		電解研磨と溶接ロボットのノズル 用スパッタ付着防止剤について	(株)タセト 技術部 化学品技術グループ 主任 山村 亮平 氏	
		ロボット研磨の落とし穴 -適切な研磨材選定の重要性-	スリーエム ジャパン(株) 研磨材製品技術部 佐藤 津紀夫 氏	
4	3/8	乾式電解研磨技術と研磨事例の 紹介	(株)NTTデータザム テクノロジーズ 営業統括部 桑山 公一 氏	30 人

② 生産技術研究会

1) 技能伝承研究会

生産工程の技能伝承をテーマとして作業時における加工力の数値化、視線の動かし方、動作解析などのデータ取得実験を進め、デジタル技術を活用した医療器具製造時の技能伝承の取り組み事例を紹介した。

- ・ 期間(回数)：令和5年7月～(全4回実施)
- ・ 指導者：長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 村上 祐貴 氏
- ・ 参加者：5人(5社)

2) 表面技術研究会

ファインバブルを用いた洗浄工程の効率化をメインテーマとして、ファインバブルを活用した洗浄技術に関する情報提供と洗浄実験を行った。ファインバブルを用いた洗浄実験は、油分などが付着したテストピースを用いて洗浄条件を変更しながら大学や当センターで実施し、実験結果は会員企業と共有した。

- ・ 期間(回数)：令和5年7月～令和6年3月(4回実施)
- ・ 指導者：新潟大学 自然科学系 工学部 准教授 牛田 晃臣 氏
- ・ 参加者：10人(7社)

3) 生産性向上研究会

地域企業の生産性向上に寄与するため、生成AIの基本や生産工程のデジタル変革を推進した中小企業の実施例などを共有した。また、IoTを利用した機械設備稼働状況などの見える化について検討を行った。

- ・ 期間(回数)：令和5年4月～令和6年3月(5回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授 渡部 康平 氏
- ・ 参加者：6人(6社)

4) カutting技術研究会

切削加工の高効率化、品質向上をテーマとして開催。導入しやすい価格帯の3次元CAD/CAMの試用を会員と行うとともに、超音波振動援用加工や金属3Dプリンタと切削加工のコスト比較事例を紹介した。

- ・ 期間(回数)：令和5年10月～令和5年12月(4回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 磯部 浩巳 氏
- ・ 参加者：6人(6社)

(2) 技術開発総合支援事業(担当：技術開発課)

(収入決算額：2,866,720 円、支出決算額：2,866,720 円)

① 機械設備・分析測定機器の利用促進

機械設備、分析測定機器を地元企業へ紹介するデモツアーを適宜開催して利用促進に努めた。

【機械設備利用状況】

名 称	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
3D測定レーザー顕微鏡	23	14	14	38	13
多関節型3次元デジタイザー	18	20	30	29	35
蛍光X線分析装置	40	31	36	45	36
走査型電子顕微鏡	0	1	3	2	6
レーザーマーカー	21	17	16	22	15
デジタルマイクロスコープ	6	2	10	14	5
3次元デジタイジング装置	16	22	10	25	16
3次元デザインCADシステム	39	40	35	57	49
万能塑性加工試験機	7	3	1	10	3
雰囲気熱処理装置	—	—	14	26	22
3Dプリンター	47	37	30	26	25
顕微フーリエ変換赤外分光光度計	5	9	14	11	3
汎用旋盤、包丁の切れ味試験機、 精密天秤など	35	8	32	11	5
合 計(件数)	257	204	245	316	233

② 職員による技術相談

燕三条地域を中心とした企業から寄せられた腐食/変色/色むらなど素材表面での不具合に関する相談、熱処理方法、DX推進、材料物性などの技術相談に対してセンター技術職員が機械設備等を活用しながら解決策や改善策を提案した。

- ・ 相談件数：66 件(45 社)

③ 技術専門家派遣

製造現場の自動化や見える化、生産工程上の課題に対して専門家を派遣して課題解決に向けた助言を行っていただいた。

- ・ 相談件数：1 件(1 社)

④ 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を地域企業が戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回の個別相談会を実施した。商標、意匠、実用新案の権利取得や保護に関する相談が多く、相談案件に対して継続的なフォローを行った。

- ・ 指導者：ジーバック国際特許事務所 所 長 清水 善廣 氏
弁理士 小松 悠有子 氏
- ・ 相談件数：28 件(15 社)
- ・ 出願に繋がったもの：1 件

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額：65,920,199円
(事業収入：2,098,200円、市負担金収入：63,821,999円)
○支出決算額：65,920,199円

2 事業の成果

- ◆ **燕三条ブランド推進事業**: 地域ブランド向上の基盤となる、ブランド力の高い企業の創出を目的とした実践型セミナーを開催した。また、首都圏でのデザイン賞受賞製品の展示や、デザインギャラリーの活用により、地域企業の取り組みを支援した。
- 産業観光の推進では「燕三条 工場の祭典」を開催したほか、職人とのづくりをテーマとした展示の開催、集客力の高い地域イベントと連動したファクトリーツアーを実施した。
- また、地域企業のオープンファクトリー化の推進を目的に、実施企業の取り組みや現場の声を集約した「オープンファクトリー導入ガイド」を作成したほか、首都圏の展示会に出展し、企業と共に燕三条のオープンファクトリーをPRした。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

(収入決算額：65,920,199円、支出決算額：65,920,199円)

① 燕三条ブランド強化・発信事業

1) 次世代ブランド企業創出プロジェクト【新規】

- ・ 名称：中小企業のためのデザイン経営のはじめ方
- ・ 参加企業：4社(オープンセミナー参加者：8社11人)
- ・ 開催日：令和6年2月26日(月)～3月15日(金)

開催日	内 容
2/26	「デザイン経営先進企業トーク・ツアー」 訪問企業：(株)スノーピーク
2/27	「デザイン経営とは/デザイン経営におけるデザイナーの役割」 講 講：(株)ロフトワーク 加藤修平 氏 (株)テント 青木 亮作 氏
3/15	オープンセミナー 「新規の取組における知的財産の保護・活用の重要性」 講 師：(株)IPディレクション代表取締役 弁理士 土生 哲也 氏 「デザイン経営の始め方と事業計画作成」 講 師：(株)ロフトワーク

2) 国内外デザイン賞活用支援

ア) GOOD DESIGN AWARD 2023 応募説明会、個別相談会

- ・ 開催日：令和5年4月19日(水)
- ・ 参加企業：説明会17社、相談会8社

イ) GOOD DESIGN AWARD 2023 燕三条

- ・ 内 容：2023年度受賞製品と「GOOD DESIGN STORE TOKYO」で購入可能な商品及び、過去3年内受賞製品からセレクトした製品の展示

- ・ 会 場：GOOD DESIGN Marunouchi (東京都)
- ・ 会 期：令和5年12月14日(金)～27日(水)
- ・ 展示数：59点

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
来場者数	8,450 人	10,627 人	6,310 人	1,948 人	4,461 人

ウ) GOOD DESIGN AWARD 2023 燕三条地域受賞製品 21点【常設展示】

エ) デザインギャラリーでの常設展示

オ) ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2023 受賞製品【常設展示】

3) 「ものづくり」をPRする展示会の開催

- ・ 内 容：地域で生まれるモノ・コトの「歴史・背景」「現場・プロセス」を通じ、燕三条の魅力を発信する展示(販売促進イベント同時開催)
- ・ 名 称：「燕三条×ものづくり×人づくり 職人達の仕事」
- ・ 会 期：令和5年9月13日(水)～19日(火)
- ・ 会 場：ジェイアール名古屋タカシマヤ
- ・ 来場者数：約20,000人

4) 企業プレゼンテーションスペースの貸出

- ・ 会 場：リサーチコア3F デザインギャラリー
- ・ 展示企業：20社(令和4年度：18社)

5) 商品企画・デザイン開発の相談対応や外部デザイナーとのマッチング

- ・ 3件(グッドデザイン賞応募、外部デザイナーの紹介)

6) 地域デザイン団体の活動に対するサポート

- ・ 燕三条デザイン研究会：総会・視察研修(1回)、役員会(1回)

② オープンファクトリーイベント事業

1) 「燕三条 工場の祭典」の開催

- ・ 内 容：燕三条地域の工場が製造現場を一斉に開放し、訪れた工場でものづくりを見学・体験・購入できるイベントの開催
- ・ 会 期：令和5年10月26日(木)～29日(日)4日間
- ・ 参加企業：87社・団体(令和4年度：3日間・82社・団体)
- ・ 来場者数：29,773人(令和4年度：33,514人)

2) 「Red Dot Design Museum: Special Exhibition」の開催

- ・ 会 期：令和5年10月20日(金)～令和6年1月21日(日)
オープニングセレモニー：令和5年10月19日(木) 204人
- ・ 会 場：Red Dot Design Museum(独・エッセン)
- ・ 来場者数：13,882人(前年同時期の来訪者より17%増)
- ・ ガイドツアー開催数：20回(当初予定10回、リクエストによる回数増)

③ 「燕三条 ものづくりツーリズム」事業

1) インテリアライフスタイル出展【新規】

- ・ 内 容：企業のものづくりを発信し販路開拓するとともに、地域のオープンファクトリーの取り組みを紹介し、来訪を促した。
- ・ 会 期：令和5年6月14日(水)～16日(金)

- ・ 会 場：東京ビッグサイト 西展示棟
- ・ 共同出展企業：14 社
- ・ 来場者数：18,634 人

コンタクト数	商談件数	成約件数	見積検討中
589 件	176 件	17 件	35 件

2) ファクトリーツアーの造成【新規】

- ・ 内 容：近隣で開催される大型イベントと連動した特色のあるファクトリーツアーの開催

ア)「弥彦菊まつりタイアップ企画」

- ・ 実施日：令和 5 年 11 月 10 日(金)、17 日(金)、24 日(金)/1 日 2 回
- ・ 参加企業：4 社
- ・ 参加者数：42 人

イ)「にいがた酒の陣」開催に合わせた企画

- ・ 実施日：令和 6 年 3 月 8 日(金)、11 日(月)/1 日 2 回
- ・ 参加企業：4 社・団体
- ・ 参加者数：24 人

3) オープンファクトリー導入ガイドの作成【新規】

- ・ 内 容：オープンファクトリー化を目指す企業が活用できるよう、実施企業の取り組みや現場の声をまとめたガイドの作成
- ・ アンケート実施企業：25 社
- ・ 事例紹介企業：5 社

④ 地域資源活用発信事業

1) 観光ポータルサイト「燕三条 夢創紀行」の運営

- ・ 内 容：観光関連団体との連携によるイベント情報等の集約と発信

イベント情報	アクティビティ情報
87 件	22 件

2)「燕三条まちあるき」の運営支援

- ・ 内 容：ウェブサイトをリニューアルし、主催団体による独自運営を支援し、春秋の季節別開催から通年開催へ移行して機会の拡大を図った。

年 度	実施コース数	参加延人数	備 考
R 5	11	62 人	中止 1 コース
R 4	29	133 人	中止 8 コース
R 3	32	186 人	中止 7 コース
R 2	11	132 人	中止 15 コース
R 元	30	264 人	—

3) 燕三条「畑の朝カフェ」の運営支援

- ・ 内 容：地域農業(農産物)のブランド化のため、朝の農園で体験や朝食を楽しむイベントの開催支援。実行委員会による独自運営について協議

開 催 日	開催会場	参加人数	備 考
6月3日(土) 4日(日)	ハーヴェスト：燕市	15人	蜂蜜収穫体験と蜂蜜試食 ハーブと野菜の収穫体験
10月1日(日)	渡辺果樹園：三条市	17人	完熟ぶどうの食べ比べ
10月15日(日)	小杉農園：燕市	22人	柿の収穫体験 柿の渋抜き体験
11月11日(土)	たけちょう商店： 三条市	14人	なめこの収穫体験 なめこの素焼き体験

【開催実績】

年 度	開催回数	参加人数	備 考
R 5	4回	68人	
R 4	4回	76人	
R 3	2回	40人	園主都合による中止1回
R 2	4回	95人	
R 元	6回	123人	荒天による中止1回 感染症の影響による中止1回

4) 燕三条W i n g の活用

- ・ 内 容：地域の窓口となる燕三条駅内の「燕三条W i n g」を活用した来訪者に向けた「ものづくり」の展示
 - ア)「燕三条的 アウトドア×モノづくり」
 - ・ 会 期：令和5年7月1日(土)～8月31日(木)
 - ・ 展示内容：多彩なギアと外遊びの楽しさによりものづくりの魅力を紹介
 - ・ 来場者数：15,340人
 - イ)「燕三条 鋳起銅器職人の命(カタチ)幾万回と打てば。」
 - ・ 会 期：令和5年9月2日(土)～11月6日(月)
 - ・ 展示内容：職人が生み出す道具や手仕事品の照会
 - ・ 来場者数：13,537人
 - ウ)「わたしが愛用する燕三条の道具」
 - ・ 会 期：令和5年11月10日(金)～令和6年1月21日(日)
 - ・ 展示内容：ユーザーが永く使用している愛用品をエピソードと共に紹介
 - ・ 来場者数：13,771人
 - エ)「メイドイン燕三条のアウトドアナイフ」
 - ・ 会 期：令和6年2月20日(火)～3月24日(日)
 - ・ 展示内容：各企業の技術を活かした製品にそのこだわりを添えて紹介
 - ・ 来場者数：6,565人

【4】企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額：10,243,392円
(事業収入：4,838,130円、市負担金収入：5,405,262円)
- 支出決算額：9,889,591円

2 事業の成果

- ◆ **技術力強化支援事業**：地域企業の主に新人～中堅の方々のレベルアップを目標として技術研修を開催した。研修は前年度の受講者アンケートに基づいた内容の改善、実習などを積み重ねた結果、受講者アンケートでは「初心者でも理解しやすかった」「復習して身につけたい」などの前向きなコメントが多く、受講満足度 84%という研修となった。
- ◆ **経営力強化支援事業**：地域企業の売上げや利益の拡大に貢献するため、営業力やコスト意識の醸成、デジタル化推進などに関するセミナーを開催した。セミナー後の受講者アンケートでは、受講者の 89%の方から受講して良かったと回答いただいた。また、メルマガや広報誌を用いてリサーチコア実施事業の広報活動を行いプレゼンス向上に努めた。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業(担当：技術開発課)

(収入決算額：3,124,770円、支出決算額：2,770,969円)

地域企業の人材育成を目的として新人、中堅などの各階層をターゲットとした技術研修を開催した。前年度受講者アンケートの結果を基にしたセミナー内容の改善、実習や事前勉強会を組み合わせることで受講者の満足度が高い研修となった。

- ・ 全12コース、56回、175時間、募集190人/実績173人
(R4：全12コース、56回、172.5時間、募集190人/実績189人)
- ・ 理解度60%以上の受講者：62%/満足度「良かった」以上の受講者：84%
(R4：理解度60%以上の受講者：60%/満足度「良かった」以上の受講者：84%)

① 新人基礎コース(1コース)

(単位：人)

講座名	期間(時間数)	R5	R4	R3	R2	R元
図面の見方と金属材料・加工基礎講座	4/21～4/28(18時間)	30	28	30	14	22

② 技術基礎コース(6コース)

(単位：人)

講座名	期間(時間数)	R5	R4	R3	R2	R元
金属材料基礎講座	9/5～10/11(22.5時間)	14	17	11	15	24
図面の見方・描き方入門講座(第1期)	7/18～8/4(18時間)	19	20	17	18	23
図面の見方・描き方入門講座(第2期)	11/7～11/28(18時間)	25	19	19	19	24
製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	6/14～7/12(10時間)	11	9	9	14	20

3D-CAD入門講座	8/28～9/8(15時間)	9	6	14	17	15
感性設計基礎講座	8/8～8/10(15時間)	10	13	-	-	-
合 計		88	84	70	83	106

③ 専門分野集中研修コース(4コース)

(単位：人)

講 座 名	期間(時間数)	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
溶接技術集中講座	9/7～9/8(9.5時間)	11	14	14	15	18
プレス加工集中講座	11/2～11/30(15時間)	15	19	19	19	8
表面処理技術集中講座	5/9～5/23(11時間)	9	20	26	-	22
熱処理技術集中講座	11/7～11/28(11時間)	7	11	9	12	14
合 計		42	64	68	46	62

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース(1コース)

(単位：人)

講 座 名	期間(時間数)	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
燕三条ものづくり現場改善基礎講座	9/14～10/19(12時間)	13	13	17	17	28

(2) 経営力強化支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：7,118,622円、支出決算額：7,118,622円)

① 企業向け情報・経営研修会の開催

地域企業の事業運営やデジタル化の一助となるようセミナーを開催した。セミナーの受講者の89%の方々から受講して「良かった」と感じていただけるセミナーとなった。

- ・ 全8コース、27回、65時間、募集98人/実績95人

(R4：全8コース、29回、61時間、募集88人/実績82人)

- ・ 理解度60%以上の受講者：78%/満足度「良かった」以上の受講者：89%

(R4：理解度60%以上の受講者：74%/満足度「良かった」以上の受講者：86%)

〈情報系〉(5コース)

(単位：人)

講 座 名	期間(時間数)	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
エクセル活用講座 (仕事の効率を上げるExcel活用講座)	5/15～5/24(10時間)	15	13	11	13	9
広報・広告のための撮影講座	12/8～12/18(8時間)	9	8	-	-	-
イラストレーター講座 (初心者のためのAdobeIllustrator講座)	3/7～3/14(6時間)	6	5	5	8	6
WordPress入門講座	11/7～11/20(8時間)	6	3	9	10	10
デジタルツール活用 ワークショップ	8/30～8/31(12時間)	9	11	-	-	-
合 計		45	40	25	31	25

〈経営系〉（３コース）

（単位：人）

講 座 名	期間(時間数)	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
中堅・若手社員のコスト意識の育成講座	7/21～8/4(9時間)	26	23	23	19	20
営業力強化セミナー	4/12～4/26(6時間)	12	7	9	10	11
事務職のための業務改善研修	6/2～6/16(6時間)	12	13	16	6	12
合 計		50	43	48	35	43

② 経営力強化のための個別相談事業

③ センター事業の広報活動

1) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年2回)

2) ビジネス情報の提供

メルマガジンの発行

- ・ 毎月1回(年間12回)配信
- ・ 掲載情報件数：81件
- ・ 3月末メルマガ配信登録者数：543件

④ 地場産センターホームページ、フリースポットの管理・運営

地場産ホームページを適時更新し、館内フリースポットの安定稼働に努めた。

- ・ センターホームページの月平均閲覧数：32,391件/月(R4：30,313件/月)

⑤ 情報関連機器の維持管理、情報研修室の利用促進

館内通信ネットワークを安定的に運用するため、各種サーバーや通信環境のメンテナンス、データのバックアップ、グループウェアの導入を行った。

- ・ 情報研修室OA機器、研修用DVD等の貸出 (※R4年度)

貸出機器名	貸出件数	備 考
パソコン・プロジェクター	19件 (74件)	情報研修室内の貸出用PC他
研修用DVD等	22本 (5本)	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

- 収入決算額：39,507,460円
 （事業収入：5,260,700円、市負担金収入：34,046,760円、
 その他補助金収入：200,000円）
 ○支出決算額：39,218,759円

2 事業の成果

◆ **海外販路支援事業**：アメリカ、ドイツ、中国のBtoB展示会に企業と共同出展し、バイヤーとの商談を行った。また、ニューヨーク、ロサンゼルス、カナダでのBtoC販売促進イベントを行ない、店舗での継続販売に繋げた。

インバウンド誘客では欧米での展示会・イベントと併せた地域PRや、旅行社へのセールスのほか、新潟県、他自治体と連携したシンガポール旅行博への出展と海外旅行社向け商談会に参加し、個人客への来訪を促すと共にツアー造成に向けた活動を行った。

セミナーでは、情報入手が難しい地域や企業の関心が高いと思われる地域の情報提供と貿易実務等の講座を開催し、企業内人材のスキルアップに寄与した。

3 実施事業

（1）海外販路支援事業

（収入決算額：39,507,460円、支出決算額：39,218,759円）

① 燕三条製品の海外販路開拓支援

1）欧州展示会への出展（ドイツ・フランクフルト）

- ・ 名 称：Ambiente 2024
- ・ 会 場：フランクフルト国際見本市会場

（Ludwig Erhard Anlage1 60327 Frankfurt am Main, Germany）

年 度	共同出展企業数	コンタクト数	成約・見積検討数
R 5（1/26～30）	15 社	378 件	72 件
R 4	17 社	341 件	114 件
R 元	11 社	241 件	5 件

※R 2・R 3は開催中止

2）北米展示会への出展（ニューヨーク）

- ・ 名 称：SHOPPE OBJECT 2023
- ・ 会 場：PIER36(299South street New York ,NY10002)

年 度	共同出展企業数	コンタクト数	成約・見積検討数
R 5（リアル展8/13～15） （オンライン展7/15～1/15）	8 社	352 件	69 件
R 4 （リアル/オンライン）	8 社	496 件	159 件
R 3（夏/冬）	5 社/ 6 社	351 件/437 件	夏： 42 件 冬：126 件

※R 3 夏：オンライン展のみ、R 3 冬：リアル展＋オンライン展

3) 中国展示会への出展(四川省成都市)

- ・ 名 称 : HOTELEX 成都 2023
- ・ 会 場 : 成都世紀城新国際会議展示センター(四川省成都市武侯区 198 号)

会 期	共同出展企業数	コンタクト数	成約・見積検討数
8/16~18	6 社	172 件	9 件

4) 北米での販売促進イベント開催

ア) ニューヨーク

- ・ 名 称 : TSUBAMESANJO Fair
- ・ 会 場 : JAPAN VILLAGE(934 3rd Avenue Brooklyn , NY11232)

会 期	参加企業数	来場者数	販売点数
8/19~1/30	7 社 1 団体	4,500 人	206 アイテム

イ) ロサンゼルス

- ・ 名 称 : TSUBAMESANJO Artisan Fair
- ・ 会 場 : JACCC

(244 South San Pedro street Los Angels , CA 90012)

会 期	参加企業数	来場者数	販売点数
10/27~29	13 社	1,223 人	1,922 アイテム

5) カナダでの販売促進イベント開催(JETRO 連携)

- ・ 名 称 : TSUBAMESANJO Fair
- ・ 会 場 : ENISHI

(269 East 6th Avenue , Vancouver , British Columbia V5T 1J7)

会 期	参加企業数	来場者数	販売点数
10/13~12/24	11 社	80 人(事前予約制)	613 アイテム

②インバウンドプロモーション事業

1) 欧州展示会・北米展示会と併せた誘客イベントの開催【新規】

- ・ 欧州 : 訪問社数 : 1 社、取材対応 : 1 件
- ・ 北米 : 訪問社数 : 4 社(ニューヨーク 3 社、ロサンゼルス 1 社)

2) 北米での販売促進と併せた誘客イベントの開催

ア) ニューヨーク

- ・ 会 期 : 令和 5 年 8 月 19 日(土)~20 日(日)
- ・ 会 場 : JAPAN VILLAGE(934 3rd Avenue Brooklyn , NY11232)

イ) ロサンゼルス

- ・ 会 期 : 令和 5 年 10 月 27 日(金)~29 日(日)
- ・ 会 場 : JACCC(244 South San Pedro street Los Angels , CA 90012)

3) カナダでの販売促進と併せた誘客イベントの開催

- ・ 会 期 : 令和 5 年 10 月 13 日(金)~12 月 24 日(日)
- ・ 会 場 : ENISHI

(269 East 6th Avenue, Vancouver, British Columbia V5T 1J7)

4) 県内在住外国人に向けたツアー開催による SNS での発信【新規】

- ・ 名 称 : Tsubamesanjo Ambassador tour for International Residents
- ・ 開催日 : 令和 6 年 3 月 1 日 (金)
- ・ 参加者 : 8 人 (ドイツ・ルーマニア・ロシア・セネガル・ベトナム・中国・インド)
- ・ 訪問先 : 燕三条地域 (6 箇所)
- ・ 投稿件数 : 6 件 (期限付投稿数 101 件)
- ・ メディア掲載 : 新潟日報、三條新聞、ケンオードットコム

5) 新潟県、他自治体と連携したイベント出展、旅行社セールスの実施 (シンガポール)

- ・ 名 称 : Japan Travel Fair
- ・ 会 期 : 令和 5 年 9 月 29 日 (金) ~ 10 月 1 日 (日)
- ・ 会 場 : Marina Square, Singapore (6 Raffles Boulevard Singapore 039594)
- ・ 来場者数 : 25,000 人
- ・ コンタクト数 : 310 件

6) 海外旅行社アポイントメント商談会への参加

- ・ 名 称 : VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2023
- ・ 会 期 : 令和 5 年 10 月 26 日 (木) ~ 28 日 (土)
- ・ 会 場 : インテックス大阪 (大阪府大阪市住之江区南港北 1-5-102)
- ・ 商談数 : 23 社 / 12 カ国

7) 視察・招聘等への対応

- ・ メディア、バイヤー等 : 14 件
- ・ ツアー立寄り実績 : シンガポール 13 人、米国 40 人

8) SNS による燕三条地域の情報発信

ア) インスタグラムによる情報配信

投 稿 数		R 5 投稿反応数	
R 5	R 4	閲 覧 数	反 応 数
161 件 (期限付 784 件)	162 件 (期限付 132 件)	81,540 回	6,111 件

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2
登録者数	2,226 人	1,475 人	1,223 人	759 人

イ) J N T O (日本政府観光局) を通じた情報発信

- ・ 掲載数 (採択数) : 6 件 (ニューヨーク、フランス、フィリピン、カナダ)

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
掲 載 数	6 件	8 件	9 件	6 件	3 件

③ 海外展開に関する相談対応

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
相談件数	127 件 (64 社)	101 件 (56 社)	70 件 (43 社)	24 件 (23 社)	9 件 (6 社)

④ 海外展開に関するセミナー

- 1) UAE(ドバイ)を中心とした中東市場セミナー
 - ・ 開催日：令和5年5月17日(水)
 - ・ 講師：ジェトロ 元ドバイ事務局次長(中東担当)西浦 克 氏
 - ・ 参加者：17人(15社)
- 2) 一歩踏み出す！輸出商談の事前準備講座
 - ・ 開催日：令和5年7月21日(金)
 - ・ 講師：合同会社トロ代表 芳賀 淳 氏
 - ・ 参加者：12人(11社)
- 3) タイ・カンボジアを中心とした海外市場セミナー
 - ・ 開催日：令和5年8月3日(木)
 - ・ 講師：ジェトロ新潟貿易情報センター 所長 宮尾 正浩 氏
 - ・ 参加者：32人(28社)
- 4) 貿易に関する実際のクレームと対処法&インコタームズの選択方法と解説
 - ・ 開催日：令和5年8月30日(水)
 - ・ 講師：(株)グローバル・ビズ・ゲート 池田 隆行 氏
 - ・ 参加者：36人(36社)
- 5) 「EPA・海外輸送・海上保険」が一気に学べる！貿易実務講座
 - ・ 開催日：令和5年11月1日(水)
 - ・ 講師：東京税関業務部首席原産地調査官 小平 浩利 氏
佐川急便(株) 事業開発部・国際事業推進課 課長 松田 晋子 氏
東京海上日動火災保険(株) 海上業務部 次長 竹田 博己 氏
 - ・ 参加者：43人(40社)
- 6) 「貿易実務講座中級編」～リスクとコストの低減方法～
 - ・ 開催日：令和5年11月15日(水)
 - ・ 講師：(株)グローバル・ビズ・ゲート 池田 隆行 氏
 - ・ 参加者：27人(24社)
- 7) 「貿易実務講座中級編」～言語、税務・会計、知的財産～
 - ・ 開催日：令和5年12月5日(火)
 - ・ 講師：合同会社トロ代表 芳賀 淳 氏
 - ・ 参加者：21人(20社)

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元
セミナー数	7	11	8	7	9
参加者数	188人 (174社)	145人 (121社)	180人 (144社)	133人 (111社)	249人 (199社)

⑤ 海外展開に関する情報提供

- ・ メールマガジンによる情報発信：海外展開メールマガジン「万里一空」

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2
配信回数	18回	17回	20回	21回
登録者数	168人	154人	144人	133人

【6】需要開拓事業

1 収支決算額

○収入決算額：594,149,579円

○支出決算額：445,392,852円

2 事業の成果

- ◆ **展示・即売事業**：地場産業に関連する実演や体験などを含んだ各種イベントを定期的に開催し、商品モニターの場としても活用する一方、環境に配慮した店舗として金属資源の回収に取り組んだ。また旅行会社への誘客宣伝を再開する中、インバウンド観光の回復もあり、来館者数と物産館の売上げともに過去最高の実績となった。
- ◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：燕三条駅乗降客も増加し、インバウンドを含む来館者数や売上げがともに向上する中、燕三条駅コンコースにある展示ケース内に企業毎のQRコードを設置したほか、企業やアイテム別の企画展示を行うことで、地場産業製品を効果的にPRすることができた。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：519,386,015円、支出決算額：384,495,521円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R 5	501,363,754 円	11,090,582 円	6,717,414 円	519,171,750 円
R 4	389,153,160 円	8,930,305 円	6,880,999 円	404,964,464 円
R 3	303,261,812 円	8,201,158 円	6,851,400 円	318,314,370 円
R 2	272,267,514 円	17,138,121 円	6,670,600 円	296,076,235 円
R 元	395,892,241 円	10,682,048 円	6,480,600 円	413,054,889 円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	4/29～5/7：9日間 (R 4：4/29～5/8 10日間) (R 3：4/29～5/5 7日間) (R 2：中止) (R 元：4/27～5/6 10日間)	約 22,840 人 (約 20,647 人) (約 11,316 人) — (約 29,724 人)
お盆フェア	8/11～16：6日間 (R 4：8/11～16 6日間) (R 3：8/12～16 5日間) (R 2：8/13～16 4日間) (R 元：8/14～18 5日間)	約 17,832 人 (約 12,145 人) (約 7,291 人) (約 4,769 人) (約 12,104 人)

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	免税件数	免税購入金額
R 5	302,518 人	3,173 人	1,473 件	31,957,481 円
R 4	254,659 人	1,072 人	341 件	8,760,382 円
R 3	205,641 人	108 人	7 件	172,767 円
R 2	176,871 人	169 人	5 件	207,184 円
R 元	276,492 人	2,769 人	683 件	13,191,548 円

④ その他実績

年度	観光バス来館	レンタサイクル利用
R 5	567 台	454 人
R 4	395 台	317 人
R 3	181 台	142 人
R 2	164 台	136 人
R 元	1,072 台	217 人

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額：74,763,564 円、支出決算額：60,897,331 円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R 5	72,596,235 円	110,905 円	2,679,967 円	75,387,107 円
R 4	61,801,570 円	173,140 円	2,454,160 円	64,428,870 円
R 3	35,095,626 円	229,028 円	2,545,700 円	37,870,354 円
R 2	31,681,622 円	339,368 円	2,560,440 円	34,581,430 円
R 元	66,585,485 円	1,834,206 円	2,508,000 円	70,927,691 円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	5/3～7：5日間 (R4：4/29～5/5 7日間) (R3：5/1～5 5日間) (R2：中止) (R元：5/2～6 5日間)	約1,911人 (約2,456人) (約559人) — (約2,050人)
お盆フェア	8/12～15：4日間 (R4：8/13～16 4日間) (R3：8/13～16 4日間) (R2：8/12～16 5日間) (R元：8/11～15 5日間)	約2,239人 (約737人) (約415人) (約434人) (約2,206人)

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	免税件数	免税購入金額
R5	68,859人	1,407人	597件	10,437,561円
R4	48,583人	393人	176件	3,962,847円
R3	30,401人	30人	1件	11,037円
R2	28,648人	43人	8件	33,691円
R元	74,781人	1,080人	282件	4,165,229円

【7】収益事業

1 収支決算額

○収入決算額：111,307,473円

○支出決算額：55,060,676円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**：他地域地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、地域内外から集客を図り県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の効果的なPRを行った。
- ◆ **貸館事業**：インターネット上から会場の空き状況の閲覧や申し込みが可能となる、貸館予約システムを導入し利便性の向上を図る一方、円滑な運営ができるよう会場利用者へのサービス提供に努めた。
- ◆ **レストラン運営事業**：イベントの開催や広告掲載時などにレストラン情報も発信し、Bitの運営サポートを行うとともに、会場利用者への昼食などの手配を行いサービスの向上に努めた。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額：37,568,188円、支出決算額：26,488,019円)

年度	地域外取扱商品販売金額		
	物産館	燕三条Wing	合計
R5	28,594,872円	8,868,316円	37,463,188円
R4	22,412,883円	7,664,148円	30,077,031円
R3	11,918,664円	5,150,140円	17,068,804円
R2	11,146,126円	2,909,319円	14,055,445円
R元	24,165,263円	11,390,505円	35,555,768円

(2) 貸館事業

(収入決算額：60,442,618円、支出決算額：20,251,280円)

【会場利用状況】

施設名	R5	R4	R3	R元
メッセピア計	<u>43,033,641円</u>	<u>49,219,871円</u>	<u>46,714,836円</u>	<u>40,758,605円</u>
1F：多目的大ホール	22,920,282円	28,836,370円	28,819,005円	23,100,640円
3F：中会議室	2,024,687円	1,821,500円	1,684,054円	2,046,749円

4 F : 大会議室	6,073,787 円	6,387,894 円	5,275,205 円	4,274,680 円
特別会議室	769,450 円	656,273 円	719,820 円	395,881 円
小会議室(和室)	783,887 円	898,545 円	1,016,780 円	935,798 円
5 F : 総合研修室	8,968,023 円	9,410,746 円	7,877,950 円	8,386,718 円
ミーティングルーム	1,493,525 円	1,208,543 円	1,322,022 円	1,618,139 円
リサーチコア計	18,457,035 円	19,617,603 円	15,431,028 円	15,226,160 円
6 F : 研修室	10,993,536 円	11,087,179 円	8,581,944 円	9,393,016 円
7 F : マルチメディアホール	7,463,499 円	8,530,424 円	6,849,084 円	5,833,144 円
合 計	61,490,676 円	68,837,474 円	62,145,864 円	55,984,765 円
施設利用者数	172,148 人	156,366 人	166,295 人	149,757 人

※令和2年度は緊急事態措置により比較一覧より除外（31,981,872 円、99,127 人）

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：13,296,667 円、支出決算額：8,321,377 円)

燕三条 B i t 実績

【売上実績】

年度	売上金額	時間帯	内 訳	割 合	営業手数料
R 5	194,024,652 円	ランチ	84,812,560 円	43.7%	6,600,616 円
		ディナー	109,212,092 円	56.3%	
R 4	172,943,546 円	ランチ	77,284,755 円	44.7%	6,073,588 円
		ディナー	95,658,791 円	55.3%	
R 3	140,581,726 円	ランチ	64,506,433 円	45.9%	5,264,543 円
		ディナー	76,075,293 円	54.1%	
R 2	135,608,711 円	ランチ	62,214,724 円	45.9%	5,140,218 円
		ディナー	73,393,987 円	54.1%	
R 元	185,752,269 円	ランチ	69,745,099 円	37.5%	6,393,806 円
		ディナー	116,007,170 円	62.5%	

【来客実績】

年度	客 数	時間帯	内 訳	割 合	客単価
R 5	44,240 人	ランチ	25,674 人	58.0%	3,303 円
		ディナー	18,566 人	42.0%	5,882 円
R 4	42,047 人	ランチ	29,137 人	69.3%	2,652 円
		ディナー	12,910 人	30.7%	7,409 円
R 3	34,915 人	ランチ	24,241 人	69.4%	2,661 円
		ディナー	10,674 人	30.6%	7,127 円
R 2	37,056 人	ランチ	25,467 人	68.7%	2,442 円
		ディナー	11,589 人	31.3%	6,333 円
R 元	51,972 人	ランチ	32,404 人	62.3%	2,152 円
		ディナー	19,568 人	37.7%	5,928 円

附 属 明 細 書

令和５年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。